

1 基本情報

施設名称	大阪市立阿倍野防災センター
施設所管課・担当	消防局予防部予防課（地域防災）
条例上の設置目的	災害に関する知識及び防災技術の普及向上並びに防災意識の高揚を図るとともに、災害発生時における応急活動の拠点としての役割を果たすことを目的とする
業務の概要	・ 防災に関する教育及び指導 ・ 地震その他の災害及び防災に関する資料及び装置の展示 ・ 防災に関する講演会、講習会、研究会等各種行事の開催 ・ 貸室運営業務及び施設総合管理
成果指標	利用者満足度
数値目標	80％以上
指定管理者名	一般財団法人大阪消防振興協会・株式会社ノムラメディアス大阪事業所共同事業体
指定期間	令和 7 年 4 月 1 日～令和12年 3 月31日（5 年間）
評価対象期間	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者満足度	
数値目標	80％以上	
年度実績	98.30%	
達成率	122.9%	

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	88,066	104,353	-16,287
稼働率	81.4%	82.7%	-1.3%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	97,383,638	84,902,455	0	
	計画	97,383,638	84,902,455		
利用料金（使用料）収入	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
自主事業収入	実績	1,206,866	1,000,569	546,866	自主事業の拡大
	計画	660,000	666,660		
その他収入	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
合計	実績	98,590,504	85,903,024	546,866	
	計画	98,043,638	85,569,115		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	36,298,092	56,159,087	4,203,084	人件費単価の増加
	計画	32,095,008	51,514,158		
物件費	実績	65,504,472	36,097,421	215,842	
	計画	65,288,630	36,015,819		
修繕費	実績	159,940	0	-285,060	
	計画	445,000	0		
自主事業支出	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
その他支出	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
合計	実績	101,962,504	92,256,508	4,133,866	令和7年度より新しく指定管理者を選定し、事業体の体制が変わったことにより、一部の職員にかかる経費を物件費として計上している。（約3千万円） よって、前年に比べ人件費が減少し、物件費が大幅に増加している。
	計画	97,828,638	87,529,977		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度80%以上	122.6%	S	

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
来館者の状況により、照明器具や空調機のこまめな電源オフに努め、消費電力の節約に務めた。	A	物価が高騰している中、前年度比で水道光熱費が減少している

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	A	様々な取組みを行い高い利用者満足度を維持している。
施設の有効利用	A	地域団体や他機関と連携しイベントを開催した。
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

日々の施設運営に加え、年間を通して、幅広い世代（子ども、子育て世代、高齢者等）を対象としたイベントを開催することで利用者からも高い利用者満足度（助かる力・助ける力が身についた）を維持している。
また、啓発グッズの販売や新しく有料のイベントを開催する等、自主事業にも積極的に取り組んでおり、自主事業収入も増加している。さらに施設予約についてオンライン予約システムを導入し、利用者の利便性向上を図っている。
このように施設目的を達成するために、様々な取組みを行っており、利用者アンケートにおいても非常に良い施設との意見が数多く寄せられている。

6 外部専門家意見

専門家1 令和7年度は起震装置更新・撤去作業のため、通常コース体験とフリーエリア入場を停止し代替展示を実施したり、起震車による震度7体験を停止する期間が発生したが、多様なイベントを開催し内容を工夫することで、入館者数を概ね維持し、利用者からの高い満足度を得た点が評価できる。自主事業「あべの・防災サバイバル鬼ごっこ2026」は有料に関わらず、1日で100名もの参加者があった。また、国内のみならず、複数の外国機関の職員らの視察に対応し、本施設と施設の事業目的の海外への紹介にも貢献している。
専門家2 来場者アンケートで、「助かる力、助ける力が身に付くような知識技術を習得することができた」と答えた人が98.3%と非常に高い評価が得られていること、自主事業の拡大や各コースのスタート時間の見直し、LINEを活用したオンライン予約、わかりやすい絵の説明や多言語化に対応した看板設置など、より多く、より幅広い層に防災・減災の知識を得てもらう工夫ができていところがとても良いと思います。 一方で、改修工事により研修室や起震装置による震度7体験が長期間使用できなかったこともあり、利用人数や稼働率が前年度に比べ低下しています。今後は知名度・利用者数向上が課題だと思われます。防災・減災の知識を知りたいというニーズは非常に高まっていますので、双方向の情報発信ができるLIN等のSNSの活用、パブリシティ発信や報道機関や情報誌との積極的なコラボレーションなどによるさらなる知名度向上、来客数の増加を期待しています。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	S	施設の修繕の影響で利用者が減少しているが、それを除けば前年度ベースの来館者を維持しており、来館者からも高い満足度を得ている。
市費の縮減	A	物価が高騰している中、前年度比で水道光熱費が減少している
管理運営の履行状況	A	前年度からのイベントも維持しながら新しい取り組みも実施しており、目的事業以外にも自主事業に積極的に取り組んでいる点が評価でき、市民の防災知識の向上に大変貢献している。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	A	新しい取り組みや施設目的に合った自主事業を積極に行い、利用者の利便性の向上や知識技術の向上に体験貢献している。 今後は様々な要因（施設の改修等）があっても来館者数の維持向上できるよう、施設の知名度向上にも力を入れていただきたい。